

下記の通り、オンラインでの読書会を開催します。今回は「フェミニズム」について考えるシリーズ第1弾。 『ベル・フックスの「フェミニズム理論」―周辺から中心へ―』(あけび書房、2017年)を題材に、二人の 語り手が、思うところを自由に話し合います。ふるってご参加ください。

## 語り手 鳥山 純子 (立命館大学)、本山 央子 (アジア女性資料センター)

鳥山 純子(とりやま じゅんこ)

大学卒業時に渡埃(エジプト)。生活者の視点でエジプト都市部の幸せと痛みについて研究を行う。2005年よりお茶の水女子大学で博士後期課程に所属。2015年3月に人類学とジェンダー研究で博士号取得。現在は立命館大学国際関係学部ジェンダー教員。

本山 央子(もとやま ひさこ)

大学生のときに「アジアの女たちの会」に参加し、以後フェミニズム、開発、環境、平和運動に関わってきた。ユネスコアジア文化センター、FOE-Japan、アジア女性資料センター等で働き、2020年3月に国際関係とジェンダー研究で博士号取得。現在はアジア女性資料センター理事、お茶の水女子大学基幹研究院研究員。

## 2020. **9.1** Tue 20:00-21:00

会場

Zoomを利用したオンライン開催

参加方法

ご参加希望の方は登録フォーム(<u>https://forms.gle/yeJg3MPEbjvsMvfPA</u>) またはQRコードより前日までにお申し込みください。

※ZoomのURLを当日正午までにe-mailアドレスにお送りします。



## ◆主催

科研費基盤研究(A) イスラーム・ジェンダー学と現代的課題に関する応用的・実践的研究(代表:長沢栄治) 新学術領域研究 グローバル秩序の溶解と新しい危機を超えて:関係性中心の融合型人文社会科学の確立 B01班規範とアイデンティティ(代表:酒井啓子)

◆共催

東京大学 日本・アジアに関する教育研究ネットワーク

◆問い合わせ先 イスラーム・ジェンダー学科研事務局 (office@islam-gender.jp)